

# たかまつ市議会 レポート

## REPORT

平成28(2016)年10月15日発行(第178号)

● 高松市議会ホームページ ●

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/655.html>

### 瀬戸内国際芸術祭2016

7月18日から9月4日までの49日間、瀬戸内海の島々を舞台に繰り広げられる現代アートの祭典、「瀬戸内国際芸術祭2016」の夏会期が開催されました。

期間中の来場者は延べ40万人を超えたほか、高松港エリアには「瀬戸内アジア村」が開村し、周辺はアジア一色に染まるなど、夏にふさわしいお祭り気分が味わえました。

10月8日には、同芸術祭の秋会期が開幕しています。



©Photo:Shintaro Miyawaki

平成28年  
9月定例会

秋号

### 目次

代表質問 …… 2～4

質疑・一般質問ほか …… 5～7

情報BOX …… 8

### 定例会の日程

- 9月5日 開会、提案説明
- 8日 代表質問
- 9日 代表質問・質疑
- 12・13日 一般質問
- 14日 一般質問・特別委員会審査
- 15日 常任委員会審査
- 20日 委員長報告・討論・採決、閉会

## 今定例会で決まった主な内容

### 〔市長提出議案〕

#### ● 補正予算

- ▽ 川岡コミュニティセンターの改築に係る実施設計を行うための予算
- ▽ 電子母子健康手帳システムを導入するための予算
- ▽ 施設の老朽化や児童生徒数の急増に伴い、新設第二学校給食センター（仮称）を整備するための予算
- ▽ 高松―ソウル線が増便されることに伴い、香川県観光協会が実施する観光客誘致対策事業に補助するための予算
- ▽ 大工町・磨屋町地区の再開発に係る建物現況調査等に対して補助するための予算

#### ● 条例

- ▽ 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（番号法）に規定する個人番号を本市が独自に利用することができる事務を追加するための改正
- ▽ ふるさと高松応援寄附金の使途として、寄附者が指定することができる本市のまちづくりの目標を達成するための事業を弾力的に定めるための改正
- ▽ 高松市民病院の診療科目に臨床検査科を、高松市民病院塩江分院の診療科目に脳神経外科を、それぞれ新設するための改正

平成28年第4回高松市議会定例会は、9月5日から9月20日までの16日間の日程で開かれました。  
今定例会では、平成28年度一般会計補正予算など9議案を可決し、議員提出議案1件を否決しました。また、陳情1件を不採択とし、人事案件12件に同意したほか、平成27年度一般会計など決算4件を継続審査としました。

# 代表質問

各会派を代表して、中村順一（議員鏡）・辻 正雄（同志会）・大山高子（公明党）・中西俊介（市ラ紙）の4人の議員が質問しました。

## 質問の主な内容

**中村順一議員（議員鏡）**  
政治姿勢、行財政、まちづくり、観光振興、農業、福祉、病院事業、水道事業、教育、選挙事務

**辻 正雄議員（同志会）**  
政治姿勢、行財政、まちづくり、観光振興、農業、交通事故防止、福祉、教育、防災対策

**大山高子議員（公明党）**  
行財政、東京オリンピック・パラリンピック、がん対策、多様な社会の構築、子育て支援、農業など

**中西俊介議員（市ラ紙）**  
昨年度決算の受けとめ、将来世代への負担の先送り、自主財源・市税収入、債権管理、ふるさと納税など

## まちづくり

**高松空港の運営の民間委託**  
さらに飛躍・発展できるよう、県と緊密な連携を図りながら、実現に取り組む

### 質問

高松空港は、交都市間交流に大いに寄与しているが、その運営の民間委託と、地域の実情に即した航路拡大等に、県と連携して取り組む考えは。

【議員鏡】

同空港は、四国の4つの空港で最も国際化が進んでおり、その運営の民間委託を契機として、さらに地域活性化に取り組む必要があると考えるが、今後の取り組みは。

【同志会】



高松空港ターミナルビル

**答 弁** 同空港において、地域の実情やニーズ

に応じた自由度の高い運営が実現し、高質な空港・航空サービスの提供や、特産品の催事販売によるブランドの発信など、利用される方や地域が、その利便性やポテンシャルを実感できることが重要であり、同空港がさらに飛躍・発展できるように、引き続き、県と緊密な連携を図りながら、運営委託の実現に取り組む。

## 行財政

### ふるさと納税

多くの方々から応援いただけるよう検討し、より一層の寄附金の増収に努める

### 質問

歳入確保策として、実質的なボトムアップを図ることが重要であるが、ふるさと納税制度の現状と今後の取り組みは。

【同志会】

本市への寄附額と控除額の差が1億円以上の赤字となっており、早急な対策が必要であるが、ふるさと納税の赤字に対する受けとめと今後の取り組みは。

【公明党】

毎年度赤字が続き、加速度的にその額が増加している本市のふるさと納税の現状の受けとめと、今後の考えは。

【市ラ紙】

**答 弁** 本市における平成27年度ふるさと高松応援寄附金額は、26年度に比べて10倍以上の伸びを示しているが、高松市民が他の自治体へふるさと納税したことに伴い、寄附を大きく上回る額が税収減となっており、厳しく受けとめている。

今後、同制度の趣旨を踏まえ、お礼品が過度にならないよう留意しながら、全国に本市の魅力を発信するとともに、これまで以上に多くの方々から応援いただけるよう検討し、より一層の寄附金の増収に努める。

実施事業の厳しい取捨選択などにより、市債残高の抑制に取り組む

### 質問

決算においてプライマリバランスが黒字であるなら、市債残高を減らすなど、将来世代へ負担を先送りしないよう努めるべきだが、その考えは。

【市ラ紙】

**答 弁** 決算におけるプライマリバランスの黒字は、直接的に市債残高減少につながるものではないが、健全財政を確保するため、今後、実施事業の厳しい取捨選択に加え、各年度の事業の平準化を図るほか、市債発行にかえて、施

設整備基金を充当するなど、市債残高の抑制に取り組む。



プライマリバランスの赤字と基金残高の確保を財政運営指針に盛り込む

### 質問

将来世代に過度な負担を転嫁しないため、財政運営指針作成に当たり、プライマリバランスの黒字と一定程度の基金残高の確保を目標として盛り込む考えは。

【市ラ紙】

**答 弁** 長期的に市債残高の抑制を図るためには、当初予算におけるプライマリバランスの黒字を目標とすること、また、長期的視点に立った健全財政を確立するためには、一定程度の基金残高の確保に努めることが必要であることから、これらについて財政運営指針に盛り込んでいく。安全性の確保はもとより、より効率的な基金の運用に努める

### 質問

基金については、一元的な管理を行

い、一括運用することで、有利となる場合がある。本市としても安全で効果的な基金運用に取り組み必要があるが、運用の現状と今後の取り組みは。

【補正】

本市においては、大口定期預金など、安全かつ確実な基金運用に努めているが、今後とも、変化する金融情勢に着目しながら、安全性が高く、利率の有利な商品による運用に加え、基金の一括運用についても検討し、安全性の確保はもとより、より効率的な運用に努める。

**観光・スポーツ**

クルーズ船を活用した取り組み事例を参考に、さらなる観光客誘致につなげる

海からの視点で、瀬戸内海の多島美の魅力はPRし、情報発信することは大変有意義だと思うが、クルーズ船を活用した観光振興策についての考えは。

【自民党 議員会】

世界に誇れる観光資源である瀬戸内海を生かせるよう、クルーズ船によるモニターツアーを実施しているほか、国内誘客促進のため、周辺5市で

クルージングツアーの商品化に向けて取り組んでいる。今後は、瀬戸内海におけるクルーズ船を活用した、さまざまな取り組みを参考に、さらなる観光客誘致につなげる施策を展開する。



高松港に停泊するクルーズ船

大型クルーズ船の誘致につながるよう、受け入れ態勢の充実などに取り組む

多島海景観を持つ瀬戸内海に面する高松港は、観光振興面で可能性を秘めているが、大きな経済効果が期待される外国クルーズ船の誘致に取り組む考えは。

【同志会 同志会】

外国クルーズ船など、大型クルーズ船の波及効果は大変大きなものがあるが、高松港への寄港数はまだまだ少ない状況にある。今後、さらなる誘致につながるよう、瀬戸内

海や本市の魅力を積極的にアピールするとともに、訪れた観光客に満足いただけるような受け入れ態勢の充実などに、鋭意取り組む。世界に発信できる高松版文化プログラムの実施に向けて取り組む

オリンピック大会開幕後、次の開催で4年間にわたって実施される文化プログラムは、地方の魅力を世界に発信でき、観光客誘致や雇用創出にもつながると考えられるが、本市も積極的に参加する考えは。

【公明党】

本市の文化芸術の振興はもとより、観光振興や国際交流の推進にもつながることから、今後、国や大会組織委員会等の考え方などを注視しながら、文化団体やアーティスト等とも連携し、世界に発信できる高松版文化プログラムの実施に向けて取り組む。

本市の文化芸術の振興はもとより、観光振興や国際交流の推進にもつながることから、今後、国や大会組織委員会等の考え方などを注視しながら、文化団体やアーティスト等とも連携し、世界に発信できる高松版文化プログラムの実施に向けて取り組む。

**医療・福祉**

市民の皆様から選ばれる病院づくりを推進するため、誠心誠意、職責を果たす

本市病院事業は、平成27年度の経常

損益が過去10年間で最悪となるほか、医師の確保とその定着にも改善の兆しが見られないが、病院事業管理者は、このような状況に陥った責任をどのように考えているのか。

【自民党 議員会】

医師確保を初め、この数年間は、思うような成果が得られていないことを真摯に受けとめ、申し訳なく存じている。今後は、より戦略的かつ効果的な方策に取り組むとともに、市民の皆様から信頼され、選ばれる病院づくりを推進するため、誠心誠意、職責を果たしたい。

認知症高齢者等の意志が尊重され、住みなれた地域で暮らせるよう取り組む

認知症高齢者への対応は待ったなしの状態だが、今後増加が見込まれる認知症の早期発見・早期対応に向けた取り組みは。

【自民党 議員会】

専門医による、もの忘れ認知症相談を開催するほか、10月には、医師や看護師など専門職で構成する「認知症初期集中支援チーム」を設置し、必要な医療や介護の導入・調整及び家族支援などを行うこととしている。今後とも

認知症高齢者等の意志が尊重され、住みなれた地域で暮らし続けられるよう、効果的な施策に取り組む

**待機児童**

できる限り早期に解消し、安心して子供を産み育てられるよう取り組む

待機児童解消策について、目標である平成30年度を待たずに前倒しで取り組み、安心して子供を産み育てることができる体制を構築する考えは。

【同志会 同志会】

今年度、本市独自の緊急対策として、市立保育所等において非常勤嘱託保育士を前倒しで雇用することで、新たに60人余りの児童を受け入れている。今後も、これらの取り組みに加え、小規模保育事業などの認可を通じて、できる限り早期に待機児童を解消し、安心して子供を産み育てられるよう取り組む。



本市非常勤嘱託職員に、がん検診の活用を促すとともに無料化について検討する

質問

本市職員に対するがん検診は、正規職員は無料で受診できるが、非正規職員は有料となる。市民に受診推奨を行っている本市として、非常勤嘱託職員のがん検診を推進する考えは。

【公明党】

答弁

がん検診の推進にについては、受診率50%を目標として、意識啓発などに取り組んでいるが、本市非常勤嘱託職員は自己負担により受診している。受診率向上の観点からも、がん検診の活用を積極的に促すとともに、自己負担額の助成による無料化について検討する。

農業

インターネット等を通じて効果的な情報発信を行い、地産地消の推進に努める

質問

本市の農業就業人口が減少傾向にある中、農業構造の根本的な改革を進め、農業所得の増大をサポートすることが重要であるが、地産地消に

よる農産物の消費拡大の考えは。

【議員会】

答弁

地産地消の促進には、生産者と消費者の情報共有が重要であるため、米や牛肉など29品目を「高松産ごじまん品」として選定し、各種イベント等を通じて紹介と普及に努めており、今後さらに、インターネット等を通じて効果的な情報発信を行うなど、地産地消の推進に努める。



高松産ごじまん品の試食販売

防災

県道岡本香川線から高松空港までの地域高規格道路の早期整備を県に働きかける

質問

大規模災害時の災害救助や応急復旧に不可欠な緊急輸送路として、県道岡本香川線から高松空港までの地域高規格道路の早期整備を県に強く要望する考えは。

【同志会】

答弁

県が事業主体となる同道路は、県内外の高松空港利用者の利便性の向上のほか、災害時の救助・物資輸送などの拠点となる空港へのアクセス強化等を図る上からも、非常に重要な路線であるため、今後とも県に対し、ルート上の早期決定と整備を働きかける。

水道

県内水道事業の広域化に伴い設立する企業団の本部危機管理センター（仮称）の活用を働きかける

質問

県内水道事業の広域化に当たり、新たに設立する企業団の本部は、高松市地域の水道事業を担う組織と近接した場所に設置すべきであり、危機管理センター（仮称）の活用も考慮すべきだが、配置についての考えは。

【議員会】

答弁

企業団運営に当たっては、本市職員が、本部と高松出張所（仮称）のそれぞれに在籍しながら全体の運営にかかわっていく必要があるため、施設の供用開始時期や企業団の業務開始時期などにも留意し

つつ、同センターの活用を検討を働きかける。

教育

各学校の人的配置などを推進するとともに、フォローアップの徹底に努める

質問

教員の負担軽減のため、教育委員会がイニシアチブを発揮する体制を整備して、勤務環境改善の方針等を策定し、フォローアップを徹底し定着を図る考えは。

【公明党】

答弁

現在、県教育委員会が策定した「教育業務改善アクションプラン」を本市の勤務環境改善の方針と捉えて、取り組みを推進している。今後とも、各学校が組織的・継続的に業務改善に取り組めるよう、人的配置などを推進するとともに、学校訪問や校長との定期的な面談を通じて、フォローアップの徹底に努める。

選挙

18歳・19歳の投票率 制度の効果的な周知・啓発などにより、向上に努める

質問

7月に行われた参議院議員通常選挙は、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられてから初めて実施された国政選挙だが、本市における投票状況について、どのように受けとめているのか。

答弁

出前授業の実施や大学構内での期日前投票所の開設など、若者の投票率向上に留意したものの、18歳・19歳の投票率が全国の速報値を下回ったことは大変遺憾であり、今後県選挙管理委員会や大学等と連携し、主権者教育を進めるとともに、制度の効果的な周知・啓発などにより、投票率の向上に努める。



# 質 疑

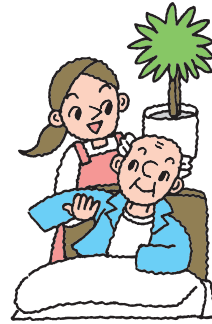
今定例会に提出された議案について、2人の議員が質疑をしました。

**介護従事者の待遇改善、地位向上に向けた対策は**

藤沢やよい議員（和産党）

**質 疑** つながらる介護ロボットの導入だけでなく、介

護従事者の待遇改善、地位向上のための対策は。



**答 弁** 本市としては、介護報酬改定に伴う職員の処遇改善加算分が、確実に現場の職員に行き渡るよう、事業者への指導監査等を徹底するほか、県が実施する事業の周知啓発を行

# 一 般 質 問

市政の、さまざまな課題について、14人の議員が質問しました。

**合併町にある保健センターの今後のあり方は**

森川輝男議員（自民党）

**質 問** 総合センターの新設に伴い、子供の検診等は桜町の保健セン

ターで実施するとのことだが、合併町にある保健センターの今後のあり方は。



**答 弁** 保健センター跡施設の会議室等の利用は、当面、これまでと同様とし、新たな利用形態の検

うことなどにより、介護従事者の待遇改善等に努める。【他の質疑▼マイナンバー制度など】

**選挙における公費負担に関する条例の一部改正は「最少の経費」と言えるのか**

太田安由美議員（裾野）

**質 疑** 本市の議会の議員及び長の選挙における公費負担の限度額を引き上げるための条例改正について、地方財政法及び地方自治法に照らし「最少の経費」と言えるのか。

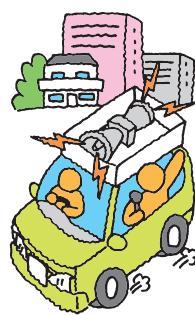
討に当たっては、住民や地域審議会等の御意見を聞きつつ、今後策定予定の「公共施設再編整備計画」との整合性を図りながら進める。【他の質問▼スポーツ振興学校教育施設など】

**屋島競技場に海外選手の事前合宿等を誘致する考えは**

妻鹿常男議員（同志会）

**質 問** 多機能を有し、トレーニング環境の整った屋島競技場に、ラグビーワールドカップ等の

**答 弁** 消費税増税などを踏まえ、公費負担の限度額が引き上げられたことに鑑み、国及び県と同様に引き上げるものであることから、今回の条例改正は、地方財政法等の主旨に沿ったものであると考える。【他の質疑▼保健体育使用料など】



海外選手や、大学等の合宿を誘致する考えは。



**答 弁** 県や関係機関と連携し、事業ノウハウの蓄積や人的ネットワークの拡大などを図るとともに、競技場の立地環境や施設の特徴を広く発信し、海外選

手や大学等の本市への合宿の誘致に積極的に取り組む。【他の質問▼高松テルサのあり方など】

**子育てと親の介護の時期が重なる「ダブルケア」の現状への受けとめは**

竹内俊彦議員（公明党）

**質 問** 今後増加が見込まれる、子育てと親の介護の時期が重なる「ダブルケア」の現状への受けとめは。

**答 弁** 今後、ダブルケアに直面する人の増加が見込まれるが、新たに開設する総合センターなどにおいて、子育て世代包括支援センターと地域包括支援センターを併設することから、相談窓口機能の一本化などを検討する。【他の質問▼現役世代の移住促進など】



富山型デイサービスのよう  
な多世代交流・多機能型拠  
点づくりを推進する考えは  
造田正彦議員（糸ヶ根）

【質問】 地域包括ケアシ  
ステムの構築に向け、富山型デイサービスの  
ような、多世代交流・多機  
能型拠点づくりを推進する  
考えは。



市営住宅上之町A・C団地  
の建てかえを誠実に履行す  
ることを議会で明言すべき  
岡田まなみ議員（相産株）

【答弁】 富山型デイサービ  
スは、地域包括ケア  
システムの構築にも有効な  
取り組みであるため、今後、  
国の動向も見極めつつ、実  
施に当たってのさまざまな  
課題を整理するなど、多世  
代交流・多機能型拠点づく  
りの推進に向けて検討する。  
【他の質問】就学前教育、  
保育の質の確保など

【質問】 市営住宅の上之  
町A・C団地の建てかえにつ  
いて、市民との約束を誠実に履  
行することをお約束し、この議  
会で明言すべきである。

【答弁】 同団地は、建てか  
えを予定しているものの、現  
地は工事用車両が通行するに  
は道路が狭く、工事用進入路  
の確保が非常に困難な状況  
であるため、その解決に向け  
て地元の皆様の御意見も聞  
きながら、検討する。  
【他の質問】介護保険制度  
など



面会交流及び養育費の取り  
決めの参考様式を作成し、  
手渡す考えは  
太田安田美議員（襦袢）

【質問】 子供の人権を守る  
ため、明石市の事例を踏ま  
え、離婚後の面会交流と養育  
費の取り決めの参考様式を  
作成し、離婚

届配付時や相談があった際  
に手渡す考えは。



【答弁】 離婚の際の面会交  
流や養育費等の取り決めに  
効果的に促し、後々のトラ  
ブルの防止に役立つものでは  
あることから、今後、参考  
様式の作成と配付について、  
検討していく。  
【他の質問】公立保育所の  
保育士の処遇改善など

ことでは新駅関連事業の今  
後の展開は  
十川信孝議員（鮎沢鏡）

【質問】 太田地区など中  
部東地域の拠点として必要  
な、ことでは新駅関連事業  
の今後の展開は。



【答弁】 三条・太田駅間の  
新駅関連事業として、駅前  
広場・駅舎・複線化の

3つの整備事業があるが、  
これらの推進に当たっては、  
地権者を含め地元関係者との  
合意形成が重要なため、き  
め細やかな説明に努めなが  
ら、早期の完成を目指す。  
【他の質問】交通安全対策  
スタジアム建設など

【質問】 小中学校では、生きる力  
を高める経済学習の学びの場  
をどう設けているのか  
藤原正雄議員（鮎沢鏡）

【答弁】 経済学習は、児童  
の生きる力を高めるが、小  
中学校で、学びの場を設ける  
考えは。

【答弁】 児童生徒が、経済  
社会についての理解を深める  
ため、社会科等で消費生活  
などの学習を取り入れており、  
今後とも、体験的・具体的な  
事例に基づき、経済学習を  
充実させるよう、各小中  
学校を指導していく。  
【他の質問】まちづくり、  
上下水道事業など



集会所の計画的な保守点検  
など、適正な維持管理につ  
いて情報提供する考えは  
中村伸一議員（公明党）

【質問】 集会所の長寿  
化は、ひいては自治会加入  
の促進に寄与すると思うが、  
集会所の維持管理について  
情報提供する考えは。



【答弁】 集会所の計画的な  
保守点検など、長寿化につ  
ながる情報提供を適宜行  
うとともに、適切な施設  
管理のための意識を啓  
発するなど、自治会加入  
や自治会活動の活性化に  
つなげるよう努める。  
【他の質問】健康都市、  
防災・減災など

林放課後児童クラブの定員  
を24人体制に見直し、教  
室を増築する考えは  
吉峰幸夫議員（糸ヶ根）

【質問】 生徒が急増する  
林小学校では、放

課後児童クラブに入会できない児童がいるが、定員を240人体制に見直し、2教室を増築する考えは。



【答 弁】 クラブ施設の増築、拡張を予定している運動場の整備内容等も考慮する必要があるので、今後、教育委員会と協議しながら、整備のあり方を検討する。

【他の質問▼口腔ケア対策、学校給食センターなど】

放課後児童クラブの量的拡大・質的拡充にどのように取り組むのか

植田真紀議員（裾野）

【質 問】 国は、放課後児童クラブの受け入れ増や職員の処遇改善などを進めるとしているが、本市における量的拡大・質的拡充に、どう取り組むのか。

【答 弁】 教室を計画的に整備し、待機児童の解消を図るとともに、支援員

の報酬引き上げや、現場の事務負担の軽減を図っており、今後とも、定員の拡大や環境整備など、量的・質的改善に、鋭意取り組む。

【他の質問▼テレビ放送広報事業の見直しなど】



本市出身のオリンピック等出場者への顕彰制度設立の考えは

白石義人議員（詔根）

【質 問】 東京オリンピック・パラリンピックに向け、本市出身のオリンピック等出場者への顕彰制度を設立する考えは。

【答 弁】 高松市スポーツ推進計画においては、国際大会等に出場する本市関係選手などを顕彰することとしているが、オリンピック・パラリンピック出場者の顕彰については、今後、この顕彰制度を考える中で、県などの同様の制度も参考

にしなから、検討を進める。



保護者の負担軽減のため、兄弟が同じ保育所等に通えるようにする考え

坂下且人議員（詔根）

【質 問】 できる限り保護者の負担を軽減できるよう、兄弟が同じ保育所等に通えるようにする考えは。



【答 弁】 現在、入所希望児が受入れ数を上回った際に実施している利用調整に関する基準の見直しを検討しており、兄弟児が優先的に同じ施設に入所できるように、本年中には

新基準を取りまとめ、来年4月入所の選考から適用できるように準備を進める。

【他の質問▼生活排水、女性職員の活躍、病院など】

山上への入り込み客数が微増にとどまっているが屋島活性化推進計画の見直しは

一川浩三議員（詔根）

【質 問】 外国人観光客が倍増する中、屋島山上への入り込み客数が微増にとどまっているが、屋島活性化推進計画の見直しが必要では。

【答 弁】 新たに策定を進めているMICE振興戦略（仮称）の中で、屋島の果たす役割を明確に位置づけることとし、改めての同計画策定は行わず、個別事業については、まちづくり戦略計画の施策事業として進行管理を行いながら、必要な見直しを図る。

【他の質問▼公共施設再編整備計画（案）一次など】



賛否が分かれた議案等審議結果一覧

今定例会では審議の結果、議案等のうち5件について、採決に当たり次のとおり賛否が分されました。賛否については、賛成の場合は○を、反対の場合は×を表示しております。

件名	議決結果等	党派別賛否						
		自民党議員会	同志会	公明党	市民フォーラム21	日本共産党	市民派改革ネット	無所属
市長提出議案	平成28年度高松市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	×	×	○
	高松市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	×	×	○
	高松市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正	○	○	○	○	×	×	○
議員提出議案	政治分野への男女共同参画推進法の制定を求める意見書	×	×	×	○	○	○	×
陳情	社会保障制度の拡充を求める陳情	×	×	×	×	○	×	×

※全議案等の審議結果については、市議会ホームページをご覧ください。

## 委員会の活動など

### ●特別委員会

特定の問題を審査・調査する会で、次のとおり開かれました。

新病院等 整備	9月14日	附属医療施設整備事業について
------------	-------	----------------

### ●調査会

重要な施策などについて、常任委員会ごとに説明を受ける会で、次のとおり開かれました。

建設水道	8月5日	高松市水道資料館活用地域活性化事業について
建設水道 ・ 総務消防 (合同)	8月18日	高松市都市計画マスタープランの改定(全体構想の改定素案)、高松市立地適正化計画(仮称)の策定に向けた基本的な考え方について

### ●議会運営委員会

7月13日・26日、8月5日・31日に、議会運営の改善等について協議しました。

## 決算審査特別委員会

平成27年度の決算を審査するため、特別委員会を設置しました。委員は次のとおりです。

(定数10人)

◎大西 智(オオニシチカ) ○杉本 勝利(スギモトカチ)  
妻鹿 常男(ウメカ 常男) 竹内 俊彦(タケノコトシヒコ)  
辻 正雄(ツジマサオ) 井上 孝志(イノウエタカシ)  
十川 信孝(ジュウカシノタカ) 中村 伸一(ナカムラノブ)  
坂下 且人(サカノカミタカ) 橋本 浩之(ハシモトヒロシ)  
(◎委員長 ○副委員長)

## 人事案件

次のとおり任命・選任・推薦に同意しました。

### ●教育委員会委員(任命)

吉澤 潔氏 関元 盛夫氏

### ●固定資産評価審査委員会委員(選任)

川口 洋子氏

### ●人権擁護委員候補者(推薦)

八十川 芳子氏 松本 喜代子氏  
浅田 克典氏 春日 あけみ氏  
片岡 邦彰氏 藤澤 武仁氏  
千葉 雅己氏 高嶋 博美氏  
溝 渕 功氏

## 高松市議会基本条例について(第4回目)

昨年4月1日から施行している、議員の活動指針である議会基本条例の概要について、本紙上で、シリーズ化してお知らせしています。

第4回目は、「第3章 議員の活動原則等」についてです。

- 議員は、次に掲げる原則に基づき活動します。
  - ・議会が言論の場であることや合議制の機関であることを認識し、議員間討議を重んじます。
  - ・市政の課題全般について、市民の多様な意見等を的確に把握し、市民全体の奉仕者や代表者としてふさわしい活動をします。
  - ・日常の調査や研修活動を通じて、自己の資質向上に努めます。
- 議員は、その地位が市民の厳粛な信託によるものであることを自覚し、高松市議会議員政治倫理条例を遵守し、品位の保持に努めます。
- 議員は、議会活動を行うため、会派を結成することができます。
- 会派は、政策を中心とした同一の理念を共有する議員で構成し、活動します。
- 会派は、政策立案・政策決定・政策提言等に関し、必要に応じて会派間で調整を行い、合意形成に努めます。
- 議員は、政務活動費を有効に活用し、市政に関する調査研究を積極的にを行います。
- 議員は、政務活動費を適正に執行し、市民に対して使途の説明責任を果たします。

